

AED 訓練用「ハートスタート FRx トレーナー」がリニューアル

AED 実機さながらのトレーナーでリアルな救命訓練を



株式会社フィリップス・ジャパン（本社：東京都港区、代表取締役社長：ジャスパー・アスエラス・ウェステリンク、以下フィリップス）は AED トレーニング用機材として、このたび、ハートスタート FRx トレーナー（以下 FRx トレーナー）をリニューアルし販売再開しました。

心肺停止はいつでも誰にでもどこでも発生しえるため、居合わせた人が傷病者を AED で一次救命する際に、少しでも落ち着いて使える日ごろのトレーニングが大切です。そこで、フィリップスでは、よりリアルに訓練いただけることを追求した、AED 実機さながらの FRx トレーナーをご用意しております。

今回、FRx トレーナーは、筐体の色を従来のブルーから、ハートスタート FRx と同じグレーへリニューアルしました。AED ハートスタート FRx の実機と同じ形状、同じ操作方法、同じ音声ガイダンスで、さらに AED 実機さながらの仕様でご使用いただけます。フィリップスでは、AED の実機をはじめ、トレーナー関連機材も取り揃えております。

延伸する救急車到着時間。救急車到着前の応急手当と事前の AED 訓練が重要に

街中や施設内で突如倒れた傷病者に遭遇した際、救急車を呼んで助けを求めますが、救急車の平均到着時間は数年前よりも延伸しており、2022 年は 10.3 分、2023 年は 10.0 分かかっています（図 1）。心停止は人が倒れる原因の一つですが、傷病者が心停止を起こしてから 1 分経つたびに救命率は 7～10%ほど下がると言われています。

傷病者の 1 か月後社会復帰率は、心肺蘇生と AED による一次救命を行わなかった場合は 3.4%ですが、一次救命処置を行った場合は 44.9%まで上がります（図 2）。つまり、救急車到着前に、心肺蘇生と AED による一次救命が重要となります。

図 1

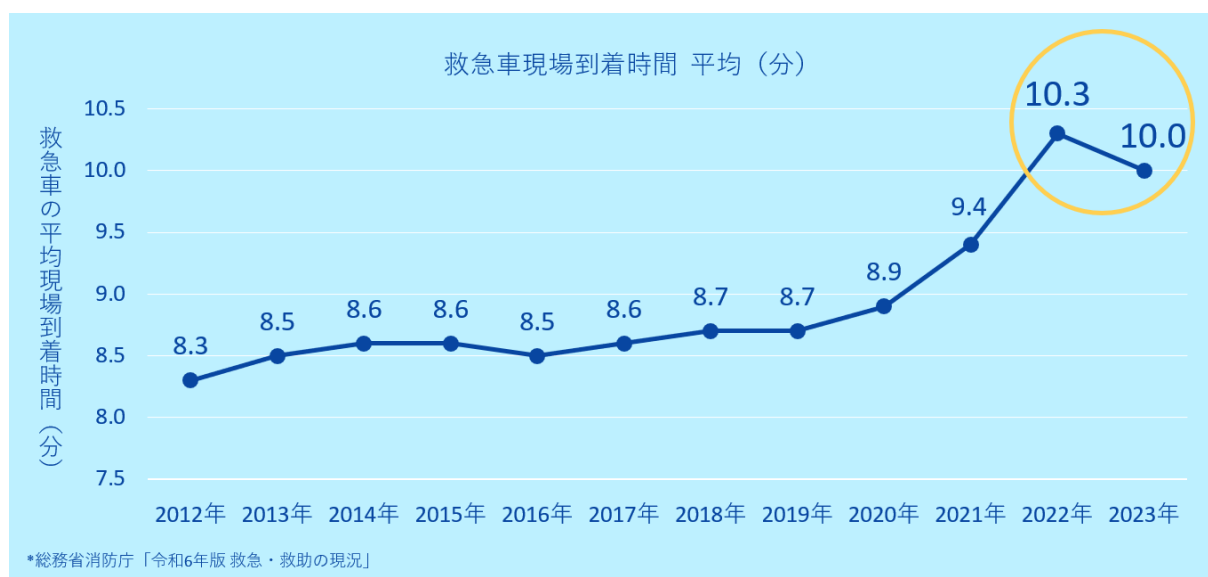


図 2

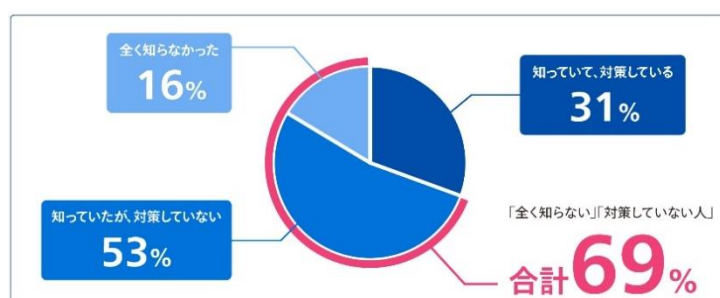


急に目の前で人が倒れたら、躊躇なく自信を持って対応できるでしょうか。そこでフィリップスでは、FRx トレーナーの販売再開に先立ち、インターネット上で一次救命意識について独自調査を行いました（2024 年 8 月 2 日～14 日、有効回答数 878 人）。

その結果、日本での救急車到着時間が伸びていることから救急車到着前に自分が AED で一次救命する必要性が高まっている現状認識については、「全く知らない」「対策していない人」が 69%となりました（図 3）。

図 3

救急車の到着時間が年々伸びており、人が倒れた際に3～5分以内にAED使用を含めた1次救命処置を自分がしなくてはならない可能性が高まっていることをご存知でしたか。



また、一次救命処置を躊躇せず自信をもって行えるかについては、回答者平均は5段階評価（点）のうち 2.78 点となりました。1～2 点は 43%の一方、4～5 点は 32%で、躊躇せず自信も持って一次救命処置を行う人の割合が少ないことがうかがえました（図 4）。

図 4

人が倒れて、自分が救助をしなくてはならなくなった場合、躊躇せず、どの程度正しく1次救命処置を行う自信がありますか。



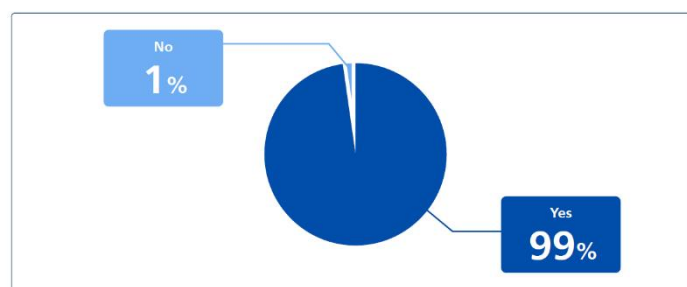
日本蘇生協議会の JRC ガイドライン 2020 によると、1～2 年に 1 回程度の頻回なトレーニングは、技能や救助者の自信、一次救命への意欲の改善につながると言われています。AED を設置して終わりではなく、日ごろの点検のほかに、救命の場を想定した定期的なトレーニングが重要であると考えられます。

救命救急の現場で自信をもって AED を使用するために

AED を躊躇なく使えるように、AED の実機や、AED 実機さながらのトレーナー機で練習する有効性については、99%がイエスと回答（図 5）。実機や実機さながらのトレーナー機による、救命時に実際に使用する機材を用いたトレーニングが有効と考えている人が多いことが示唆されました。

図 5

AEDを躊躇なく使えるように、日頃、AEDの実機や、AED実機さながらのトレーナー機で練習することは有効と思いますか。



フィリップスでは、急に人が倒れた際に AED を迷わず使えるように、日ごろの備えとしての訓練で使う AED トレーナーも、本物さながらの外観であるほか、実機と同じ心肺蘇生法のガイダンスや心臓マッサージのリズムを再現しています。

付属のトレーニングパッドは複数回使用が可能なため、繰り返しトレーニングを行えます。トレーニングパッドは FRx トレーナーで使用できるだけでなく、FRx の実機に装着することで実機をトレーナーとして使用することもできるデザインとなっています。さらに、FRx トレーナーは市販の単 4 電池で動くため、ランニングコストも抑えられます。

フィリップスの AED は日本だけでなく海外でも広く販売しているため、インバウンドで来日した観光客でも母国で馴染みがある外観となっています。

[製品ページはこちら](#)

アンケート概要：

フィリップス「心肺蘇生法と AED 調査 2024」

期間：2024 年 8 月 2 日～8 月 14 日

方式：インターネット

有効回答数：878 人

フィリップス・ジャパンについて

株式会社フィリップス・ジャパンは、ロイヤルフィリップスの日本法人として 1953 年に創業以来、革新的な技術を通じ、人々のより良い健康と満ち足りた生活の実現を目指しています。主な事業領域は、画像診断、超音波診断、イメージガイド下治療、生体情報モニタ、ヘルスインフォマティクス、睡眠・呼吸治療、およびパーソナルヘルスと多岐に渡ります。ヘルステクノロジーのリーディングカンパニーとして、超高齢化が進む日本の医療・健康課題解決に向け取り組んでいます。

日本の従業員数は約 2,000 人、約 70 拠点を展開しています。（<https://www.philips.co.jp>）

ロイヤルフィリップスについて

ロイヤルフィリップス（NYSE:PHG, AEX:PHI）は、革新的な技術を通じ、人々のより良い健康と満ち足りた生活の実現を目指す、ヘルステクノロジーのリーディングカンパニーです。

フィリップスの革新的技術は人々を中心に設計されています。先進的技術と医療従事者および消費者のインサイトを活用し、消費者にはパーソナルヘルスソリューションを、医療従事者とその患者様には病院や家庭でのプロフェッショナルヘルスソリューションを提供しています。

オランダに本社を置く当社は、画像診断、超音波診断、イメージガイド下治療、生体情報モニタ、ヘルスインフォマティクス、およびパーソナルヘルスの分野で世界をリードしています。フィリップスの 2024 年の売上高は 180 億ユーロ、全世界に約 69,700 人の従業員を擁し、世界 100 か国以上でビジネスを展開しています。フィリップスに関するニュースはこちらからご覧ください。

（<http://www.philips.com/newscenter/>）

本件に関するお問い合わせ

株式会社フィリップス・ジャパン

コミュニケーション担当

press@philips.com

製品に関するお問い合わせ

株式会社フィリップス・ジャパン

AED コールセンター 0120-802-337

受付時間 9：00～18：00（土・日・祝祭日・年末年始を除く）